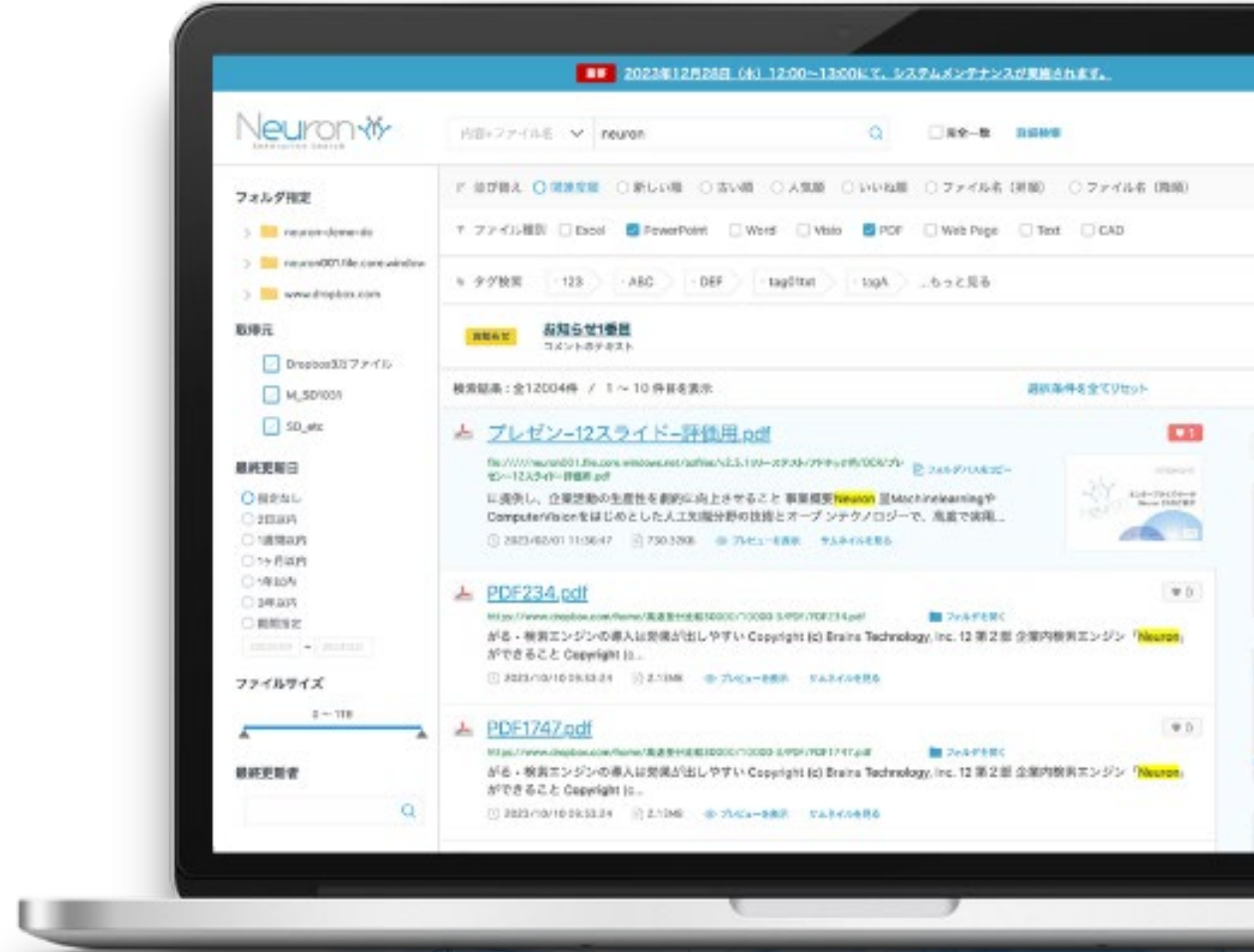


企業内検索エンジン Neuron ES

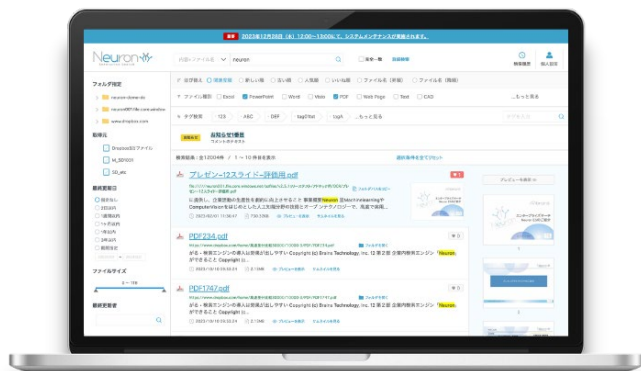
Neuron Enterprise Search
生成AI連携オプションのご紹介

パナソニック デジタル株式会社



ソリューションのご紹介

NeuronES (検索エンジン)



大量のデータから
情報の探索(横断検索)
様々なユースケースご利用

- ポータルサイトのコンテンツ探索
- 問い合わせ業務の効率化
- 技術文書の探索の効率化

Neuron ES 生成AI連携オプション



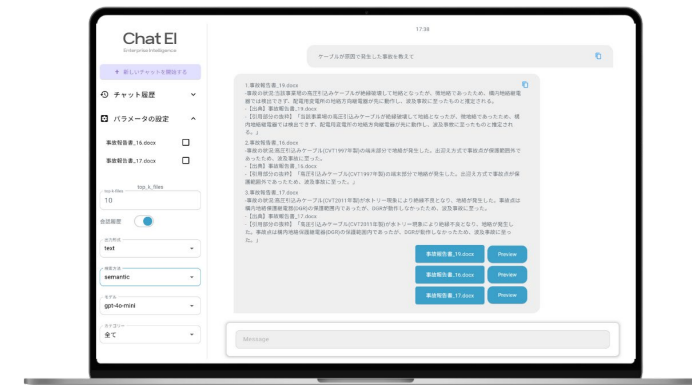
検索結果に基づく生成AIチャット画面

キーワード検索時の検索結果画面

検索結果に対して
生成AIでの思考のサポート
情報探索後の情報理解を支援

- ドキュメント情報の要約
- トラブル対応に対する対処法の揭示
- データ加工 (翻訳・表形式への加工)

Chat EI



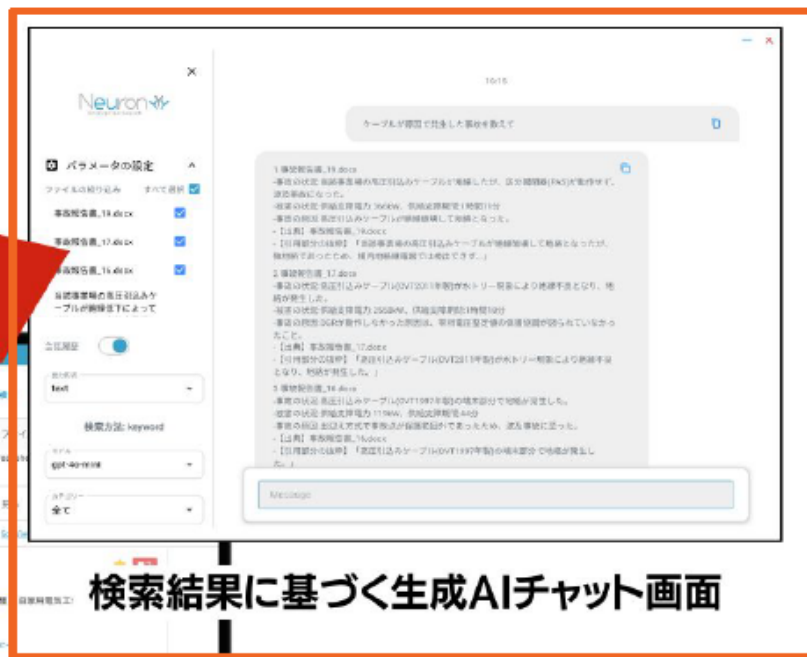
用途を特化した形で
問合せ業務の効率化
ユースケース拡大中

- 社内規定の問合せ効率化
- 製造現場のトラブル対応

生成AI連携オプション

検索結果に表示された文書に対して、会話型AIチャットで更に深掘りした回答を得ることが可能
これによりユーザは今まで以上に深いナレッジを得られます

1クリックで
チャット画面が起動!



検索結果に基づく生成AIチャット画面

検索結果に対して対話形式で
情報の深掘りが可能

- ユーザのアクセス権限に従って回答を表示
- 企業内の情報だけでなく、インターネット情報も考慮した回答可能
- OpenAI以外にもAWS BedRock等様々な生成AIと連携可能

キーワード検索時の検索結果画面

機能紹介 - 要約

- 指定した文書の要約を表示します
- 要約に表示する文字数は管理者が任意に指定できます

 **事故報告書_19.docx** ★ 0

FileServer > 事故報告

事故報告書 標記の件について、下記の通り報告いたします。記 発生日時 2020年04月
発生場所 関東 事故種別 自家用電気工作物からの波及 事故の状況 当該事業場の高圧引込み
ケーブル...

🕒 2024/07/29 15:41:38 📄 17.14KB 🔍 プレビューを表示 🖼️ サムネイルを見る **要約を表示**

file:///neuron-demo-dc/SharedDrive/ChatEI/事故報告/事故報告書_19.docx 📁 フォルダをコピー



クリック

事故報告書_19.docx

事故報告書によると、2020年4月に関東で発生した高圧引込みケーブルの地絡事故が報告された。事故は、区分開閉器が動作せず、配電用変電所の地絡方向継電器が作動したことにより波及した。供給支障は366kW、162軒に影響を及ぼし、約1時間11分続いた。原因は、ケーブルの絶縁破壊と水の浸入による腐食であり、今後は定期点検の徹底と工事管理の強化が求められる。

機能紹介 - チャット

- 検索結果の先頭最大10件に対して、チャット形式で問い合わせをすることができます
- 結果には出典が表示され、すぐにプレビューで出典元のファイルの内容を確認することが可能です

The screenshot displays the Neuron search interface. The search results for '事故 ケーブル' are shown, with a 'Chat' button highlighted in a red box. A red arrow points from this button to a chat window. The chat window shows a message: 'ケーブルが原因で発生した事故を教えてください'. Below the chat window is a 'パラメータの設定' (Parameter Settings) panel, which includes options for file selection, chat history, chat format (set to 'text'), search method (set to 'keyword'), model (set to 'gpt-4o-mini'), and category (set to '全て'). The chat history shows three messages, with the second message's source document '【出典】 事故報告書_17.docx' highlighted in a red box. The chat window also shows a timestamp of 16:15 and a close button.

検索システムで培った企業データのインデキシング技術、認証認可技術を使用した生成AIチャット

セキュ
リティ

オンプレ提供および
ファイル権限に応じた回答

クラウドサービスではなく、社内のオンプレミス環境に構築するためセキュアに運用できます。またファイルの閲覧権限に応じた回答生成により、情報の取り扱いも安心です。

柔軟性

様々な生成AIサービス
と連携が可能

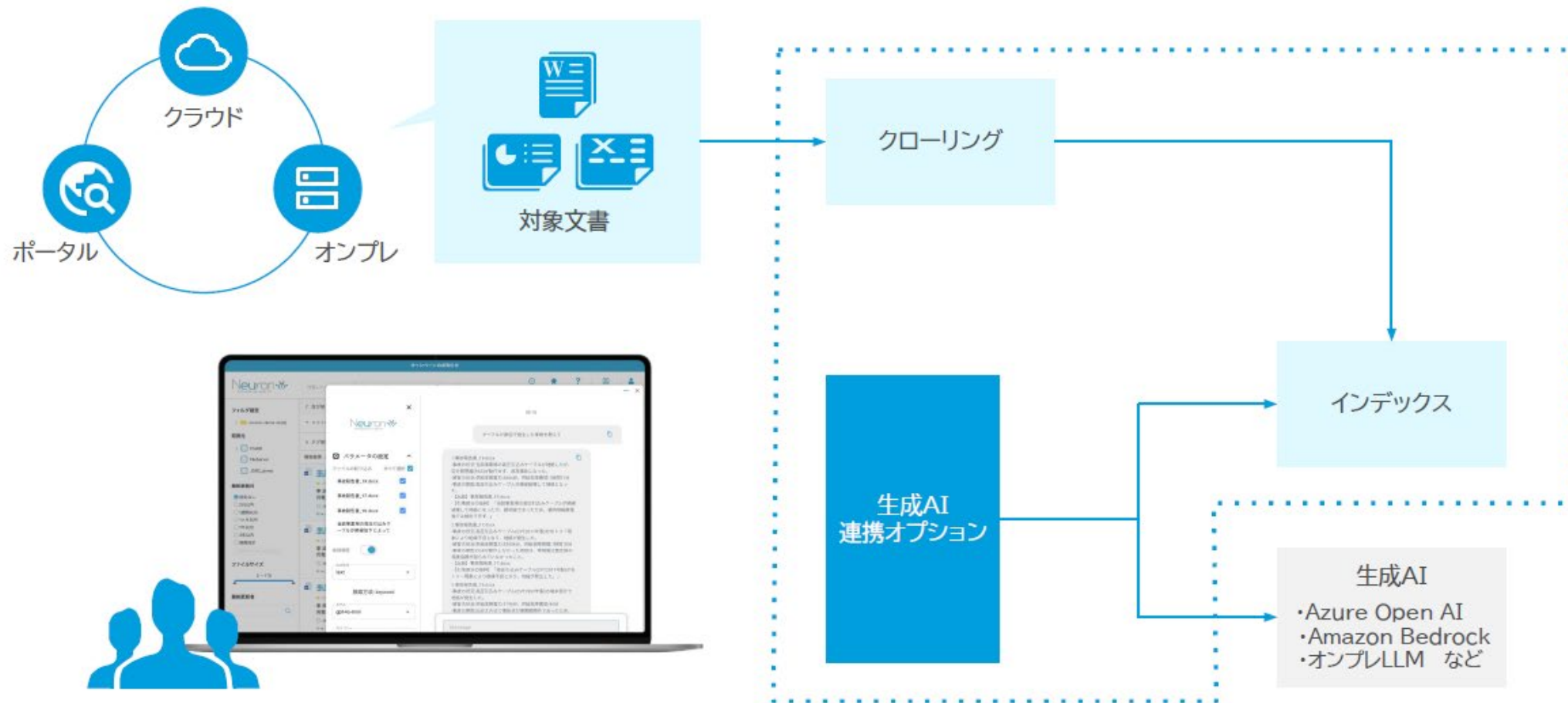
OpenAIだけではなく、Bedrock、Vertex AI等、様々な生成AIサービスと柔軟な連携が可能。お客様の環境に合わせて最適な生成サービスを選択できます。

簡単
高精度

既存のデータストレージの
情報を学習基盤に

オンプレのファイルサーバや社内ポータル、クラウドストレージなどの資料やデータを学習基盤にできるので、学習用データのアップロード等の作業が不要

Neuron ESの既存資産(クローリング技術)を活用し、
生成AI系の機能を追加した形でのご提供が可能です



部門・拠点内だけで使いたい

シングルサーバー版



検索対象量:

~1,000万文書
(~10TB)

買取型:

150万円
保守:30万円/年

サブスクリプション型:

7.5万円

全社横断で使いたい

無制限版



検索対象量:

~10,000万文書
(~100TB)

買取型:

300万円
保守:60万円/年

サブスクリプション型:

15万円

導入費 **50万円**~(ご要件に応じて個別見積)

- ※ 生成AIサービス（Azure OpenAI等）の利用量は別途発生いたします（お客様負担）
- ※ 利用料には保守サービスも含まれます

■ Azure OpenAI Service / OpenAI へ対応しています。

- Azure OpenAI Service を利用する場合、事前に以下の準備が必要となります。

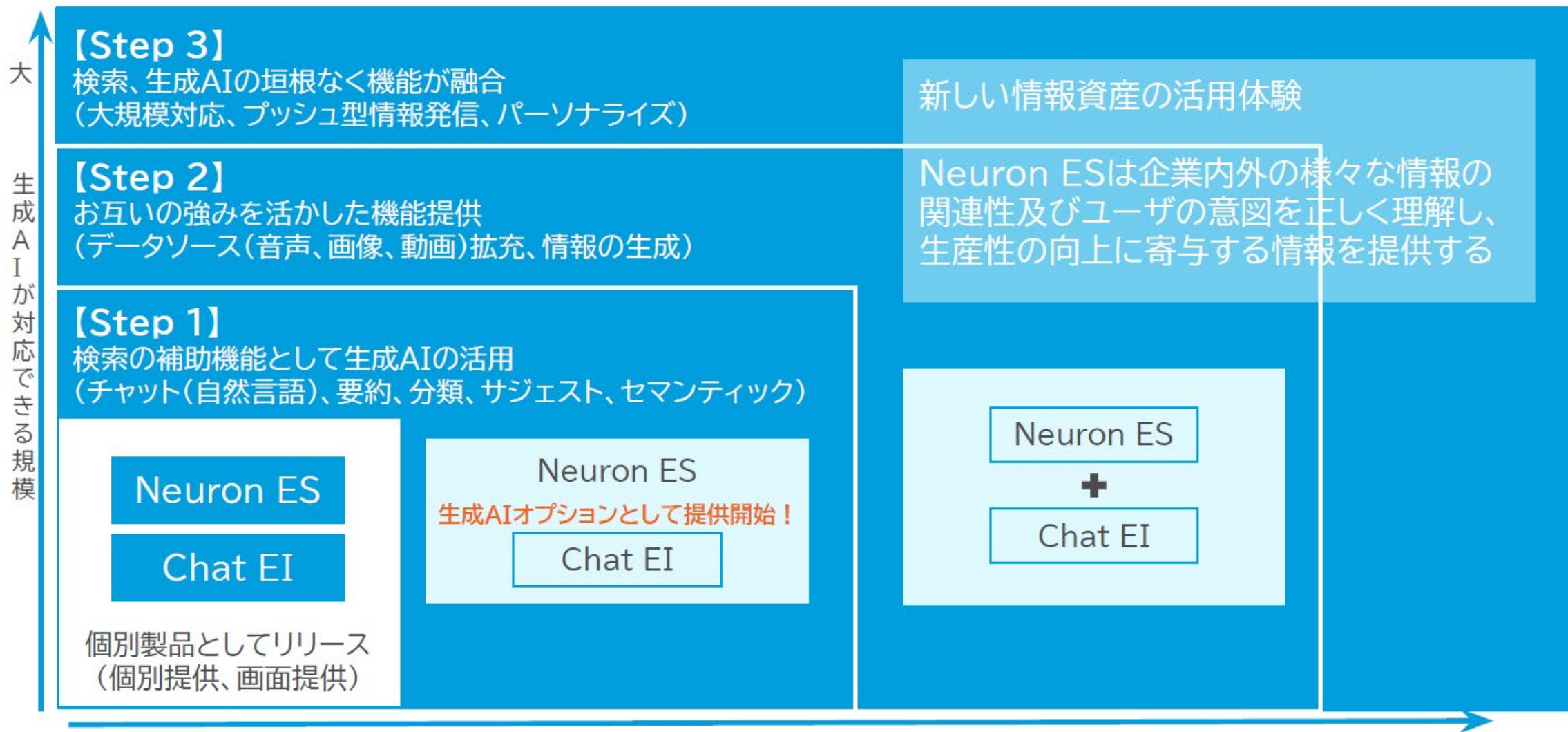
- Azure OpenAI の作成
- ネットワークセキュリティの設定
(※ お客様のセキュリティポリシーに合わせて設定ください)
- モデルのデプロイ
- 上記作成後、キー / エンドポイント / モデル名 of 情報をご準備ください。
(参考) [Azure OpenAI のリソース作成方法](#)

- OpenAI API を利用する場合、事前に以下の準備が必要となります。

- API Key の作成
 - 以下のページより、API Key を作成し、API Key をご準備ください。
 - <https://platform.openai.com/api-keys>

- AWS Bedrock を利用する場合、事前に以下の準備が必要となります。

- 以下の IAM ポリシーを割り当てされた AWS ユーザーを準備いただくか、AWS サービス内のご利用では、該当の権限を保持しているロールの割当をお願いします。
 - Action `bedrock:InvokeModel / bedrock:InvokeModelWithResponseStream`
 - Resource `arn:aws:bedrock:${REGION}::foundation-model/*`
 - 以下のページより、API Key を作成し、API Key をご準備ください。
 - (参考) <https://qiita.com/kanauzrt/items/db431194774b6aabed90>



Neuron Enterprise Search

生成AI連携オプションについてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

